

(2) 令和4年度月別の気象概況

4月	<p>上旬：期間の前半は気圧の谷や湿った空気の影響で雨の降る日が多く、特に4日は大雨となった。期間の後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。気温の変動が大きく、期間の初めはかなり低い日が、期間の終わりはかなり高い日があった。</p> <p>中旬：はじめ日本のはるか東に中心を持つ高気圧に覆われたため晴れて気温がかなり高くなった。その後は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p> <p>下旬：低気圧と高気圧が交互に通過したため周期的に変化し、大雨の日もあった。気温はかなり高くなったが、期間の終わりはかなり低くなった。</p>
5月	<p>上旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、数日の周期で変化した。</p> <p>中旬：旬初めと終わりは高気圧に覆われて晴れる日もあったが、前線や低気圧の影響を受け、雨や曇りの日が多くなった。</p> <p>下旬：晴れの日が多かったが、期間のはじめと中頃に気圧の谷や湿った空気の影響で大雨の日もあり、期間の降水量は平年より多くなった。</p>
6月	<p>上旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。期間の後半は前線や気圧の谷の影響で雨や曇りの日が多く、大雨の日もあった。なお、関東甲信地方は6月6日ごろ梅雨入りしたと見られる（速報値）。</p> <p>中旬：前線や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多くなった。</p> <p>下旬：はじめは梅雨前線の影響で雨が降ったが、その後は太平洋高気圧に覆われ晴れた。25日に今年初めての猛暑日となり、その後も猛暑日が続き、30日の日最高気温が36.4℃となった（統計開始以来6月の日最高気温1位）。なお、関東甲信地方は6月27日ごろに梅雨明けしたと見られる（速報値）。</p>
7月	<p>上旬：期間の初めは太平洋高気圧に覆われて、晴れて気温のかなり高い日があった。期間の中頃以降は湿った空気や上空の寒気の影響を受け曇りの日が多く、雨の降る日もあった。</p> <p>中旬：低気圧や前線の影響で雨や曇りの日が多く、大雨となる日もあった。</p> <p>下旬：太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の中頃は気圧の谷や上空の寒気の影響で大雨となる日もあった。</p>
8月	<p>上旬：期間の初めと終わりは高気圧に覆われ概ね晴れたが、湿った空気の影響で雷雨の日もあった。期間の中頃は前線や湿った空気の影響で曇りや雨となり、雷雨の日もあった。</p> <p>中旬：台風第8号の接近・通過、低気圧や前線の影響で雨の日があったが、高気圧に覆われ晴れの日もあった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p>
9月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、雷を伴う日もあった。</p> <p>中旬：期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れまたは曇りの日が多くなったが、期間の終わりは台風第14号周辺の湿った空気の影響を受けて雨となり、雷を伴って大雨となる日もあった。</p> <p>下旬：前半は気圧の谷や前線の影響で雨や曇りの日が多く、台風第15号の影響により大雨や雷雨となる日もあった。後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p>

10月	<p>上旬：期間のはじめは高気圧に覆われて概ね晴れたが、期間の中頃以降は前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、大雨の日もあった。期間の前半は晴れて気温が高くなった一方、後半は寒気の影響を受けてかなり低くなり、寒暖差が大きくなった。</p> <p>中旬：気圧の谷や前線の影響で雨や曇りの日が多くなったが、期間の終わりは高気圧に覆われて晴れの日があった。</p> <p>下旬：期間の前半は数日の周期で変わり雨の降る日もあったが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。期間の中頃は寒気が流れ込んだため気温がかなり低くなる日もあった。</p>
11月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、低気圧や前線の影響で雨の日もあった。</p> <p>下旬：高気圧と低気圧が交互に通過したため数日の周期で変化し、期間の後半は前線の影響で大雨の日もあった。</p>
12月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、低気圧の影響で雨の日もあった。</p> <p>中旬：冬型の気圧配置で晴れの日が多くなったが、低気圧や前線の影響で雨の日もあった。</p> <p>下旬：概ね冬型の気圧配置が続いたため晴れの日が多くなったが、期間の初めは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日があった。</p>
1月	<p>上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、晴れの日が続いた。</p> <p>中旬：期間の初めと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、中頃は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が続いた。期間の前半は暖かな空気が流れ込んだため気温がかなり高い日があった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置のため晴れの日が多くなった。24日に初雪を観測した（平年より21日遅く、昨冬より29日遅い）。</p>
2月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の終わりは本州南岸を通過した低気圧の影響により雪や雨の日もあった。</p> <p>中旬：期間の初めに前線を伴った低気圧の影響で雨の日があったが、その後は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、気圧の谷や前線の影響で雨の日もあった。</p>
3月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、気圧の谷や湿った空気の影響で雨の日もあった。期間を通して暖かい空気に覆われることが多く、気温のかなり高い日があった。1日には関東地方で「春一番」が吹いた。</p> <p>中旬：高気圧と前線が交互に通過し、周期的に天気に変化した。14日には桜の開花を観測した。</p> <p>下旬：前線や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多く雷を伴った日があったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。22日には桜の満開を観測した。</p>